

## 私の告白

4歳の時DVで両親が離婚（父はギャンブル費を母から奪うため殴っていた）

母子家庭になり生活保護をうける

母により小学校への登校を禁止され、5年間にわたり自宅軟禁。その間心理的虐待、嫌がらせを受け続ける（ご飯を食べさせない、一日中威圧するなど）

中学入るが、周囲が不良ばかり。高三まで同級生にありとあらゆる嫌がらせを受ける（刃物で脅すなど）

大学受験にて、母の希望する学校に合格しなかったことが理由で、嫌がらせを受ける（下宿を探すことを禁止し、片道2時間半の通学を強要する）

神経症になり大学を中退

22歳の時、いきなり、無一文で身分証なしの状態を実家を追い出される。

食うや食わずのところを福祉団体に助けられる

非正規の仕事を転々

3社目でうつ病悪化通院

5社目でうつが悪化して退職

自宅療養10ヶ月目

↑今ここ

私は34歳の男性です。過去に受けた嫌がらせが毎日フラッシュバックします。

母親への恨み

同級生への怒り

自分の人生が失敗した事への後悔

これらをどのように軽くすれば良いか聞きたいのです。

小一の時、私は同級生から軽いいじめを受けていました。

毒母は私に「下校の時、加害側から一緒に帰ろうと誘われても断って1人で帰ってこい。」「やられたらやり返せ」と繰り返していました。

しかし、これはどう考えても無茶苦茶な指示でした。

家が近く、下校ルートが同じなのですから、一緒に帰らないと言う事は物理的に不可能でした。

毒母はこのように、実現不可能な指示を出し、それができない私を一方的に責めることを繰り返しました。

ある日、私は下校中、加害児童から背中を蹴られました。その時毒母の「やられたらやり返せ」と言う言葉が脳裏をよぎりました。

そして、頑張っってやり返してみようと言う気が起きたのです。

私は待て、と言って加害児童を追いかけ始めました。そして 2 車線の道路を渡ろうとした時です。私は車とぶつかって転び、救急車で運ばれました。

結果は、手首の骨折でした。とても痛かったのを今でも覚えています。慣れない事はするものではありません。母の指示に従ったばかりに、私は痛い目にあったのです。

救急病院で応急処置を終え、ベッドで寝ているところに、連絡を受けた母が、弟を連れてやってきました。

私は泣きそうになり、お母さんが来てくれたと思い、「おかあさ、、」と言おうとすると、予想外の言葉が飛んできました。

毒母は第一声で「お前は何をやってるんやアアアアー！」と怒鳴りました。

普通の親なら、大丈夫か、痛かったやろ、お母さんが来たから安心しいや、などの言葉をかけるはずですよ。

しかし毒母は、いきなり私を怒鳴りつけたのです。

多分このとき初めて、私は母に対して憎しみの感情を覚えました。

手首にギブスをつけて、一緒に家に帰ってからも、毒母はずっとキレていました。一触即発、一言でも声をかければ怒鳴られそうな勢いでした。

私は傷が治るまで、約 2 ヶ月、学校を休みました。

その間、母は猛烈な勢いで学校に抗議の電話をかけました。どうやら、担任はいじめが絡んだ交通事故である、と言うことを上に報告していなかったようです。

しかし、学校は母の抗議を受けて、担任を教務から外し、また加害児童も全てが保護者に伴われて謝罪にきました。学校はある程度の誠意は見せたと思います。

しかし、私の傷が治っても、母は私を学校に生かせるそぶりを見せません。

ある日、母が突然興奮状態に陥り、私に「お前あんな学校に行きたいんかアアアアー！」と怒鳴りました。

私は、恐怖のあまり、とっさに「行きたくない」と言いました。

母はそれを利用して、学校に電話をかけ、「息子が行きたくないと言っているから行かせない」と言いました。

母は、保護者でありながら、登校拒否の責任を、当時 7 歳である私になすりつけたのです。骨折した私を怒鳴りつけたことについて、後年、私は不満を言いました。

が、毒母は「心配してるからやナイノオオオー！」と怒鳴りました。

普通の親は、心配している子供に対し怒鳴りつけるような事はしません。

毒母の態度から察するに、その本音は、「予想外のことが起きるとパニック状態に陥って不安で不快になる。だから私を不愉快にさせるな」という自己中心的なものでした。

しかし、それを正直に言うと、ろくでもない母親であることを自分で暴露することになります。

だから母は「心配している」という嘘をついて良妻賢母アピールをすると同時に、怒鳴りながら言うことで、こちらに恐怖を植え付け、それ以上言い返せないようにする、と言う詐欺テクニックを使ったのです。それでも母は「不快になりたくない」という理由だけで私と、さらに無関係の弟まで登校を禁止して家に軟禁したのです。

外に出るのは一切許可制で、滅多に許可も出ません。ひたすら家でじっとしてるように命じられました。

新しい校長に替わってから、早く登校させるようにと催促しに来たのですが、母は非常にずる賢く、逆に校長を説得して追い返したのです。

しかも自分が悪者になりたくないで、「息子が行きたくないと言っている」と嘘をついたのです。

家ではロクにメシも作らず、大体昼 2 時ごろに起きて私に買い出しにいかせます。普通登校してる時間にスーパーに行くことがどれだけ恥ずかしかったか、

さらに洗濯も週に一回、掃除は月に 2-3 回。家の中はめちゃくちゃでした。母は一日中機嫌が悪く、声を掛けると「ナンヤアアアアア！！」と絶叫して威圧することを繰り返していました。

さらに虐待がバレないように私と弟に、「お母さん以外は全員敵だから口を利くな」と言い聞かせました。

ある日、母の知人が、私たちにミニ四駆を買ってくれました。

私と弟が部屋の中でミニ四駆を走らせて遊んでいると、隣の部屋から鬼のような形相をした母が出てきて、いきなりミニ四駆を何度も踏みつけて壊し、「こんなもんで遊ぶな」と怒鳴りました。

毒母は、自分以外の人間が買ったもので、子供たちが喜ぶ姿を不快に思ったようです。

母は、常に私たちが自分だけを崇拜するように仕向けようとしていました。

よく毒母は私や弟に「お母さん以外は全員敵だから、話しかけられても口をきくな」と教えました。全く常軌を逸しています。

家に軟禁されていた期間、私も弟も 2 人ともずっと家の中で過ごしていて、フラストレーションが溜まりますから、自然に喧嘩が始まります。母は兄弟喧嘩が始まると、一方的に私を裸足のまま玄関の外に叩き出し、1-2 時間放置

します。

裸足なので、もちろんどこに行くこともできません

ひたすら玄関の前で待っているのですが、20分おきぐらいに母が、近くの窓を開け、「反省しとるか？家に入れて欲しいから反省しとるフリをしてるんやろ？まだそこにおり！」と言って窓を閉めます。

、、兄弟喧嘩の、何に反省が必要なのでしょう？

定期的に逃げないか（よそにバレないか確認）し、救いを求める子供の顔を確認し、期待させておいて、また窓を閉めるのです。その時の毒母の顔は、何とも言えない意地悪さに満ち溢れた、醜悪な顔つきでした。

真冬の夜に暗い中放り出され、寒さに震えながら、小便を我慢できなくて玄関前でしたこともあります。

また、休日の昼間に叩き出され、近所の子が遊んでいる前で、長時間晒し者にされたことがあります。どれだけ恥ずかしかったことか。

逆らえない子供に対して屈辱感 絶望感 恐怖感を味わせて喜ぶ毒母。

世の中に、ここまで根性の腐りあがった気違い女が存在するものかと、今更ながらに思います。

母はとてもプライドが高く、常に男性を見下していました。

が、己がそういう性格だという現実を受け入れず、頭の中では「優しく子供思いの良妻賢母」だと思いこんでいました。

なので虐待に不満を言うと、その事実には一切触れず「親に向かってなんて酷いことを言うんだ」と言って怒り出し、報復に2、3日一切の家事をしなくなります。

自立してから、毎日少しづつ母の虚像に気がつき始め、言いようのない怒りが込み上げてくるのです。

でも母は自分が正しいと信じて疑わない。でも私には母を反省させることができない。その無力感が、鬱の大きな要因だと思っています。

中1になって学校に通い始めてから、はじめての泊まりの遠足が決まりました。

私はワクワクして念入りに準備して当日を待ちました。

が、当日の朝母が突然「何で行くんやアアア！」と怒鳴り出すのです。

私が行きたいというと、「ジャア勝手に行けエ！」と怒鳴ります。

で、行こうとすると「何で行くんやアアア！」「行ったら後でどうなっても知らんぞ！」「帰ってきても家に入れんぞ！」

と脅します。まるでヤクザです。

結局無理やり私に休みの電話を入れさせて母はまた眠り出しました。私が長時間泣いていても無視です。

母は止めた理由を「数日前まで風邪をひいていたから」と言いましたが、全く理由になりません。

本音は「息子が離れることで不安、不快になるから」ただそれだけでした。

そのために私を傷つけても何とも思わない、それどころか、指示に従わない私に「とんでもない子」とレッテルを貼って罵倒するのです。

本当なら一番身近で守るべき我が子、自分を最も信頼して頼ってくる子供を、母は一番の騙す対象として利用してたんです。

全く人間の風上にもおけない鬼畜です。

思い出すのは辛いです。が、我慢しているともっと辛いので、世の中にはこういう親もいるんだと、より多くの人に知って欲しいです。

今の日本では、親権が強すぎて実質やりたい放題です。

良い親であればさほど問題ではないですが、悪い親であれば、簡単に子供の人生を破壊できる、最悪死に至らしめることもできるのです。そして責任追及もされない。

今日も多くの子供達が犠牲になってることでしょう。この状態を何十年も放置している日本は、何という冷たい国かと思います、、

自分が子供を持ってから、以下に我が母が狂っていたかが、よく分かるようになりました。

普通の頭があれば、育ち盛りの子供を 5 年も不登校にさせれば、社会復帰がどれほど難しくなるか想像がつくはずで  
す。

母はそれが分からないどころか、自分は良いことをしていると信じていました。他者がいくら説明しても、母の頭の中では「己が正しい」のです。

底える要素が何一つ無いのに、母は絶対の自信を持っている。

私はそれが信じられません。

母以外にも、教師や同級生でこういう類の連中を沢山見てきました。

だから、私にとってはこの世は地獄なのです。

今から思えば、自分の興味や適性を確認する大切な機会や環境を母に奪われてから、私はずっと「自分」を見失い、宙をさまよっている気がします。私は未だに、自分が誰だか分からないのです。

仕事を見つけ、やっと独立してから、ふと気になった美術の専門学校に体験に行った事があります。

体験の中で「あ、ここだ」と感じました。私が初めて、心から「ここに行きたい」と思った学校でした。

しかし、もう手遅れでした。どう考えても学費の工面が出来なかったのです。実家と縁を切り、貯金もままならない安月給の仕事にありついたらばかりの人間には、打つ手が有りませんでした。そして、必死に生計を立てる間に、この歳になってしまいました。

仮に、現役の時にその学校に出会えていたとしても、入る事は出来なかったでしょう。

「ワタシの子は有名大学に入って当たり前」「専門学校なんて学校ではない」と思い込んでいた母が許可するはずがありませんから。

「お前はよく人に振り回される」と母は私に言いました。が、最も私を振り回してさらに圧迫したのは母でした。

他人の非をあげつらい、あたかも自分が正常のように見せかける。それは天性の詐欺師である母がよく使う常套手段でした。

私が生まれた時点で、両親は非常に不仲となっていました。

母は、生まれたばかりの私を顔を見た途端、父に似ていると判断し、その時点から私のことを嫌っていたようです。

物心ついた時から「お前は父親に似ている」と繰り返し強調され、罪悪感を刷り込まれました。

父に似ていると言う根拠は、全く理由にならないものばかりでした。耳垢がねばねばしているとか、泣く声がしつこいとかです。

両親が離婚した時、普通の子供ならショックを受けますよね。私もショックを受けました。両親が仲良く揃っている方が良いからです。

しかし母は、私がショックを受けていることが根本的に気に食わなかったようで、何年も経った後から、ことあるごとにそれを取り上げ、なじられました。

母の言い分は、私は旦那に暴力を振るわれた被害者だ。だから別れた。それなのに、その母の気持ちを理解しないお前は何と言う悪い子だと言うものでした。

また、一切4歳下の弟が生まれた時、私は父の実家に預けられていたのですが、そこに毒母が弟を連れて迎えに来た時、私は弟の下に駆け寄って叩く仕草をしたようです。

が、毒母は、それを理由に私を「異常な子」だとなじりました。何年経ってもです。

小さい子が、兄弟に対して嫉妬する事は、普通によくあることだと思います。

母は、自分の想定外のことがあると、すべて異常だと決めつけ、激しく攻撃する性癖がありました。

毒母は、それ以外にも、私の寝付きが悪い、泣きだしたら泣き止むまで長時間かかる、おもちゃをたくさん欲しがると、などを理由に、一方的に私に憎しみを募らせていきました。

母はよく「お前が悪い子だった」というエピソードを私に話しました。

私が2歳くらいの時、弟の出産のため父方の祖父母宅に1ヶ月ほど預けられた事が有ったそうです。

母が生まれたばかりの弟を抱いて、私を迎えにきて、支度をさせ、さあ帰るぞと玄関で挨拶をした時のことです。

祖父母が私に「おい〇〇、帰りたく無いやろ？もうちょっとここに居てもええんやで？」と言ってしつこく私を残らせようとしたのです。

当時すでに、母と父方の家は徐々に仲が悪くなっていたようで、祖父母の引き留め行為は、母への当て付けの意図があったようです。

母は私に「そんなこと無いやんな？お母さんと帰りたいやんな？帰るで。」と、私から帰りたいたいと言わせようとしたそうです。

「帰りたく無いやろ？」

「帰るで」

「帰りたく無いやろ？」

「帰るで」

この応酬が続いたあと、間に挟まれた2歳の私は混乱して泣き出したそうです。

母は怒りながら私の手を引いて帰途に着きました。

、、この話をしながら、母は「普通の子供は、親が帰ろうと言ったら自ら進んで帰りたいたいと言うはずだ。そうしなかったお前は異常だ。いい子ぶっている。」と言いました。

車の運転要員として同行していた母の兄（父は非協力的で来なかったそうです）も、帰りぎわに2歳の私に向かって「お前も自分で帰りたいたいと言わんかい！」と怒ったそうです。

この話を聞かされていた当時は、「そうなんかな？」思っていたのですが、今思い出してハラワタが煮えくり帰ってきました。

普通の親であれば、自らの責任で子供を守り、祖父母に「余計なことを言わないで下さい」と言うはずですが。

さらに我が子が泣き出したなら、まず謝って慰めるはずですが。

それを、自分が矢面に立ちたくないが為に、2歳の我が子に責任を押し付けて帰りたいと言わせようとする。

その上、自分の思い通りに動かなかった子供に逆上し、何年も根に持って責め立てて罪悪感を植え付ける。これは極めて卑劣な行為です。

さらにさらに、その動きに母の兄も同調した。全く意味が分かりません。

今は母とは絶縁しています。私が22歳の時、突然、無一文の状態、実家から締め出されました。自分の思い通りに育たなかった子供はもう用済みで、死んでもかまわないと思ったようです。

普段から電話に出ない人で、私から手紙など送っても全て無視です。

母は自分の感情＝世界の常識だと強く信じ込んで疑わない性格でした。

また良いことがあったら自分のおかげ、悪いことがあったら他人のせいという性格で、都合が悪い現実は全て思考停止して無視する感じでした。

私と連絡を取ると、自分が子育てに失敗したという現実を嫌でも見せ付けられるので、見たくないようです。

私や弟を、行政 教師 教育委員会 民生委員 近所の人 兎相 誰も助けてくれませんでした。日本人という民族は、なんと冷たい、愛情の欠如した民族なのではないでしょうか？